

学び、交流し、参院選勝利へ

**ニュース配布や支持拡大の経験など交流
ネット選挙解禁 SNS実践講座も**

東海ブロック後援会交流・決起集会開く

「参院選で比例5議席獲得へ」。日本共産党東海ブロック後援会交流・決起集会が11日、名古屋市内で開かれ、愛知・静岡・三重・岐阜の各県から百人あまりが参加しました。井上さとし参院議員(比例候補)が決意表明し、佐々木憲昭衆院議員がネット選挙解禁に触れてあいさつしました。

井上議員は2期12年の国会で金権腐敗や米軍特権の追及、人権問題をとり上げて、分散会では役員体制やニュース発行の努力、会員訪問や6軒に1軒の割合で後援会ニュース読者を作った経験、街灯、信号設置などの要求活動、「全国はひとつ」で同窓会名簿などで元カレ、元カノの名前を調べての支持拡大、納涼祭りや新年会、バス9台で旅行に行く豊橋市の活動などを交流しました。



首相 橋下氏の慰安婦発言否定せず

井上議員が追及―参院予算委

井上さとし参院議員は15日、予算委員会で閣僚の靖国神社参拝と日本維新の会の橋下徹共同代表(大阪市長)の「慰安婦は必要」発言について、安倍首相の認識をただしました。

井上氏は橋下発言について「人間の尊厳をおとしめる暴言だ。許せない」と批判。

閣僚が「タイミングが非常に悪い」(下村文科相)、「従軍慰安婦は当時は必要性を感じていたからこそあった」(谷垣法相)と述べていることについて、「タイミングは悪いが、内容は問題ないというのが安倍内閣の立場か」とただしました。これに対し、安倍首相は「他党の代表の発言でわれわれと

は立場が異なる」と繰り返すだけでした。井上氏は「強制連行認めず 安倍首相の認識踏襲」(毎日新聞)などの報道を示し、「違うというなら、従軍慰安婦は必要というのは間違いだとはつきりのべよ」とただしましたが、首相は最後まで橋下発言を否定しませんでした。

また井上氏は、靖国神社にある軍事博物館「遊就館」は、過去の侵略戦争を「アジア解放の戦争」と美化する特定の歴史観を持った特殊な施設で、そこを閣僚が参拝するのは、「政府がお墨付きを与えることになる」と追及しました。

5月20日(月)

東海ブロックいっせい宣伝の成功を

井上議員は名古屋・金山駅で